

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

| | | | | | | | |
|-----|-----|----|------|-----|---|-------|--------|
| 教科 | 農業 | 科目 | 総合実習 | 単位数 | 2 | 学年・学科 | 3学年・D科 |
| 教科書 | 副教材 | | | | | | |

| | |
|------|---|
| 学習目標 | ○農業や家庭・福祉の体験的な学習を通して、総合的な知識や技術を習得しながら、各分野の改善を図る実践的な能力を身につけます。 |
| 学習方法 | ○農業クラブに関する体験的な学習を通して、総合的な技術を身につけます。 ○農業や家庭・福祉に関する課題を設定し、課題解決を通して専門的な知識と技術の深化・総合化を図ります。 |

| 学習評価 | 評価の観点 | 評価の観点の趣旨 | 重み付け | | | | |
|-----------------|--|---|---------------|---------------|------|------|------|
| | | | 100% | 0% | 100% | | |
| 学習評価 | a 知識・技能 (専門教科は知識・技術) | 現場実習等における総合的な実習を通して、各分野の総合化された知識を身につけ、技術の実践的な役割の実際や重要性を体験的に理解し、身に付けている。 | 前期 | 知識・技能(技術) | 40% | 0% | 40% |
| | | | 中期 | 思考・判断・表現 | 30% | 0% | 30% |
| | | | 後期 | 主体的に学習に取り組む態度 | 30% | 0% | 30% |
| | | | 前期 | 知識・技能(技術) | 100% | 0% | 100% |
| | | | 中期 | 思考・判断・表現 | 40% | 0% | 40% |
| | | | 後期 | 主体的に学習に取り組む態度 | 30% | 0% | 30% |
| | b 思考・判断・表現 | 活動の過程で生じた疑問や改善事項などの検討や分析を入念に行い、それらの諸課題を適切に判断し、改善をはかるための仮説を立て、考えることができる。 | 前期 | 知識・技能(技術) | 40% | 0% | 40% |
| | | | 中期 | 思考・判断・表現 | 30% | 0% | 30% |
| | | | 後期 | 主体的に学習に取り組む態度 | 30% | 0% | 30% |
| | | | 前期 | 知識・技能(技術) | 100% | 0% | 100% |
| | | | 中期 | 思考・判断・表現 | 40% | 0% | 40% |
| | | | 後期 | 主体的に学習に取り組む態度 | 30% | 0% | 30% |
| c 主体的に学習に取り組む態度 | 自らの職業生活や農業クラブについて興味関心を持ち、総合的な実習を通して学んだ技術を各場面で活用できる実践的な能力と態度を身につけている。 | 前期 | 知識・技能(技術) | 40% | 0% | 40% | |
| | | 中期 | 思考・判断・表現 | 30% | 0% | 30% | |
| | | 後期 | 主体的に学習に取り組む態度 | 30% | 0% | 30% | |
| | | 前期 | 知識・技能(技術) | 100% | 0% | 100% | |
| | | 中期 | 思考・判断・表現 | 40% | 0% | 40% | |
| | | 後期 | 主体的に学習に取り組む態度 | 30% | 0% | 30% | |

| 学期 | 単元名 (題材) | 学習内容 (小単元) | 評価の観点 | | | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|------|------------------------------------|--|-------|---|---|--|--|
| | | | a | b | c | | |
| 前期中間 | ○年間計画・研究活動の計画 ○意見発表 ○農業クラブ活動 | ・グループごと年間計画を立案し、継続的に研究を進めます。 ・各自の意見文を作成し、意見発表会に参加します。 | ○ | ○ | ○ | a: 自ら設定したテーマ・課題についての問題解決を目指した研究の取り組みが見られる。 b: 計画は合理的で正確かつ詳細まで立てられている。 c: 研究テーマについて、授業や実習に積極的に参加する意欲や態度が見られる。 | ・出席状況 ・実習態度 ・実習記録簿 ・意見発表原稿 (意見発表会審査用紙) |
| 前期末 | ○研究活動の成果確認 ○農業鑑定競技 | ・研究の成果を確認し、結果をまとめる手法を確認します。 ・農業鑑定競技会に参加します。 | ○ | ○ | ○ | a: グループなどの話し合いや研究がなされ、継続的に全力を注いで実施されている。 b: 実施にあたり、様々な反省事項から問題点を検討できるように思考を深め判断している。 c: テーマに沿った調査・研究を続け、興味関心を高めている。 a: 農業鑑定競技に関する知識を身につけている。 b: 各分野について多面的に考察し、適切な判断や表現ができる。 c: 競技に向けて積極的に学習に取り組んでいる。 | ・出席状況 ・実習態度 ・実習記録簿 ・農業鑑定競技 |
| 後期中間 | ○研究活動のまとめ ○盛農祭・収穫感謝祭 | ・研究活動のまとめを行い、卒業論文の構成を仕上げます。 ・(盛農祭で研究成果を発表します。) | ○ | ○ | ○ | a: 情報処理機器の使用を正しく理解している。 b: 実習の記録などを分析し、工夫してまとめている。情報処理機器を活用し、成果をわかりやすく構成し、まとめている。 c: 研究の成果を意欲的にまとめる姿勢が見られる。 | ・出席状況 ・実習態度 ・実習記録簿 |
| 後期末 | ○卒業論文の仕上げ | ・研究成果を卒業論文にまとめます。 | ○ | ○ | ○ | a: 記載されている内容が正しくまとめられている。 b: データの整理や分析を行い、記録簿を科学的に分析・考察し成果についての検証がなされている。 c: 論文として指定の様式に沿ってまとめる取り組みを意欲的に行っている。 | ・出席状況 ・実習態度 ・実習記録簿 ・卒業論文 |